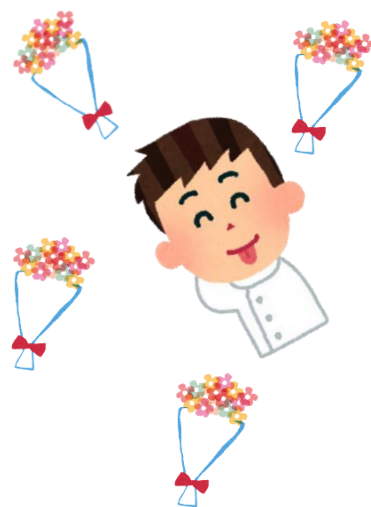




松本大和さん！准看護師試験
合格おめでとー！！



3月16日より准看護師として働かせていただく事になりました。

看護師業務は多岐にわたるため、教えて頂いたことを、基本に忠実に実行できるよう、ひとつずつ頑張ります。宜しくお願いします。

サンシャインM&Dクリニック
松本 大和



令和5年4月17日より透析室にて勤務させていただくこととなりました。

透析室での看護の経験はなく、また育児のため休んでいた期間もあるため分からないこと忘れていることありますが、1日でも早くスタッフの一員として患者さんが安全で安楽な透析治療を受けられるよう頑張っていきたいです。

大垣北クリニック
野村 千里奈



看護部通信では、ナイチンゲールの生涯について投稿してきました。今回からは、ナイチンゲールが看護の原点を著した、看護の基本書である『看護覚え書』（1860）について投稿していきたいと思います。

13章で構成されている『看護覚え書』は、現在でも全世界での看護に影響を及ぼしています。今となっては当然のように思われることも、当時のイギリスではままたらないことであり、それを理論的にまとめたことが評価されたのだと思います。

時代が変わっても決して変わることはない看護としての基本的な「ものの見方」や「考え方」をナイチンゲールの説いた言葉からひとつずつ学び取っていききたいと思います。序論から掲載していきますので、一緒に『看護覚え書』を読み直してみましょう！

「序論」を読み解く一人類初の看護の定義

- 第1章 「換気と保温」－空気の質に気を遣うこと
- 第2章 「住居の健康」－人間の住居は溜め込みの装置
- 第3章 「小管理」－自分自身を拡大する技術
- 第4章 「物音」－生命体の害となる条件・状況
- 第5章 「変化」－生命力の幅を広げる援助
- 第6章 「食事」－どのように食べさせるか
- 第7章 「食物の選択」－何をどう選ぶべきか
- 第8章 「ベッドと寝具類」－人間だけが寝床で寝る生物
- 第9章 「陽光」－陽光は自然治癒力を高める
- 第10章 「部屋と壁の清潔」－看護の基本は清潔の保持
- 第11章 「からだの清潔」－皮膚は第3の脳
- 第12章 「おせっかいな励ましと忠告」－消耗を呼ぶ会話と元気を呼ぶ会話
- 第13章 「病人の観察」－「看護過程展開」の基礎技術



種田美和



編集後記



松本大和くん、改めて合格おめでとうございます！これまでの経験は決して無駄になりません。ぜひその経験を生かして患者に寄り添える准看護師になってください。そして、北クリに入職した野村千里奈さん、ようこそ！これから一緒に頑張っていきましょうね！

そして、前回最終回を迎えた種田課長の「ナイチンゲールの世界」、新しく「看護覚え書」として、第2弾の「ナイチンゲールの世界」です。ナイチンゲールの別の世界を垣間見ることができるのではないのでしょうか。編集しつつ、とても楽しい気持ちになりました。皆さんの中に宿む看護師の深みにプラスになることと思います。

兒玉君子

